

第33回日本神経免疫学会学術集会 演題一覧

2021/10/22現在

※演者の許可が得られた演題のみオンデマンド配信いたします。

セッション名	セッションテーマ	オンデマンド配信の有無	演題番号	演題名	演者名 ※敬称略	所属
特別講演 1		○	SL-1	Multiple sclerosis: strategies for future precision medicine	磯部 紀子	九州大学大学院医学研究院神経内科学
特別講演 2 ※同時通訳あり		○	SL-2	Immune Mechanisms in Neurologic Diseases	Howard L. Weiner	Ann Romney Center for Neurologic Diseases, Department of Neurology, Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School, Boston, MA USA.
教育講演 1		○	EL-1	免疫性ニューロパチーの新規治療の現状と展望	桑原 聡	千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学
教育講演 2		○	EL-2	NMOSDに対する分子標的治療の進歩	中原 仁	慶應義塾大学医学部神経内科
教育講演 3		○	EL-3	アトピー性皮膚炎における痒みの分子機序	出原 賢治	佐賀大学医学部 分子生命科学講座 分子医化学分野
教育委員会セミナー 1		○	教セ-1	機能核酸による遺伝子制御の原理と研究法、臨床応用	横田 隆徳	東京医科歯科大学 脳神経病態学分野
教育委員会セミナー 2		○	教セ-2	グリア細胞の最近の知見と研究法	小泉 修一	山梨大学医学部薬理学講座
特別企画 PNIRSとのプレシンポジウム		○	SSY-1	Histological Architecture Underlying Brain Responses to Endotoxemia-induced Systemic Inflammation	島田 厚良	杏林大学保健学部 臨床検査技術学科
		○	SSY-2	Neuro-immune interactions in breast cancer: Relevance for health and well-being	Julienne E. Bower	UCLA Jonsson Comprehensive Cancer Center
2020年 研究創世賞セッション		○	A-1	視神経脊髄炎におけるアストロサイトパチーに基づいた新たな病期分類の確立と経時変化の解析	高井 良樹	東北大学病院 脳神経内科
		○	A-2	多発性硬化症における脳萎縮と腸管透過性の関連を探索する前向き研究	横手 裕明	新渡戸記念中野総合病院 脳神経内科

第33回日本神経免疫学会学術集会 演題一覧

2021/10/22現在

※演者の許可が得られた演題のみオンデマンド配信いたします。

セッション名	セッションテーマ	オンデマンド 配信の有無	演題番号	演題名	演者名 ※敬称略	所属
シンポジウム1 ＜末梢神経疾患＞	ノドパチーと自己免疫性末梢神経障害 - nodopathyの観点から見た免疫性末梢神経疾 患の未来像-	○	SY1-1	ラングヰエ絞輪の機能と病態生理	薄 敬一郎	Department of Neuroscience, Cell Biology & Physiology, Boonshoft School of Medicine, Wright State University
		○	SY1-2	急性自己免疫性ニューロパチーの病態メカニズム	桑原 基	近畿大学医学部脳神経内科
		○	SY1-3	慢性自己免疫性末梢神経障害のメカニズム～Autoimmune nodopathyに焦点を当てて～	緒方 英紀	九州大学病院 脳神経内科
シンポジウム2 ＜MS/NMOSD＞ 【英語セッション】	多発性硬化症における慢性炎症と病態進行	無	SY2-1	Chronic inflammation and disease progression in multiple sclerosis based on a neuropathological view	佐治 越爾	新潟大学脳研究所 臨床神経科学部門 神経内科学分野
		○	SY2-2	The pathogenic activities of B cells in the central nervous system of MS	宮崎 雄生	北海道医療センター脳神経内科
		○	SY2-3	Glial gap junctions control chronic CNS inflammation in the multiple sclerosis lesions -Insights from disease model animal-	山崎 亮	九州大学大学院医学研究院神経内科学
		○	SY2-4	The role of gut microbiome in the progressive stage of multiple sclerosis	竹脇 大貴	国立精神・神経医療研究センター神経研究所 免疫研究部
シンポジウム3 ＜重症筋無力症MG＞	重症筋無力症の最新のトピックス	○	SY3-1	重症筋無力症の疫学-2018年の全国疫学調査より-	吉川 弘明	金沢大学 保健管理センター
		○	SY3-2	免疫チェックポイント阻害薬による筋障害	関 守信	慶應義塾大学医学部 神経内科
		○	SY3-3	MGにおける分子標的薬の使い方	鶴沢 顕之	千葉大学医学部附属病院 脳神経内科
		○	SY3-4	COVID-19時代におけるMGのマネージメント	村井 弘之	国際医療福祉大学 医学部 脳神経内科学
シンポジウム4 ＜脳炎・脳症・脊髄炎＞	知っておくべき希少な脳炎・脊髄炎の診断・治療 update	無	SY4-1	新しい自己免疫性脳炎の診断と治療 update	原 誠	日本大学医学部 内科学系神経内科学分野
		○	SY4-2	神経ベーチェット病と神経スイート病	竹内 英之	横浜市立大学 医学部 神経内科学・脳卒中医学
		○	SY4-3	神経限局性サルコイドーシス	横山 和正	順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経内科
		○	SY4-4	(神経免疫疾患としての) 中枢神経系原発悪性リンパ腫	中根 俊成	日本医科大学 脳神経内科
シンポジウム5 ＜筋炎・筋膜炎＞	多彩な免疫学的機序により発症する筋疾患	○	SY5-1	封入体筋炎を取り巻く免疫学的病態	山下 賢	熊本大学大学院生命科学研究部 脳神経内科学
		○	SY5-2	悪性腫瘍関連筋炎	角谷 真人	自衛隊中央病院内科
		○	SY5-3	重症筋無力症と筋炎	内尾 直裕	三井記念病院 神経内科
		○	SY5-4	免疫関連有害事象によるミオパチー	谷口 洋	東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経内科
		○	SY5-5	孤発性遅発性ネマリンミオパチー	漆葉 章典	東京都立神経病院 脳神経内科
シンポジウム6 ＜基礎研究＞	最新の基礎研究から学ぶ脳神経疾患の分子病 態	○	SY6-1	脳内炎症性疾患における免疫細胞の動態の解析	伊藤 美菜子	九州大学 生体防御医学研究所 アレルギー・防御学分野
		無	SY6-2	新規ユビキチンコードを誘導するユビキチンリガーゼによる炎症制御機 構	池田 史代	九州大学 生体防御医学研究所 炎症制御学分野
		○	SY6-3	RNA代謝関連分子の機能異常により発症する先天性神経変性 疾患の分子機構	花田 俊勝	大分大学医学部 細胞生物学講座

第33回日本神経免疫学会学術集会 演題一覧

2021/10/22現在

※演者の許可が得られた演題のみオンデマンド配信いたします。

セッション名	セッションテーマ	オンデマンド 配信の有無	演題番号	演題名	演者名 ※敬称略	所属
ランチョンセミナー 1		無	LS1	CIDPの臨床	神田 隆	山口大学大学院医学系研究科医学専攻 臨床神経学
ランチョンセミナー 2		無	LS2	関節リウマチでの使用経験から学んだIL-6阻害療法の適正化	桑名 正隆	日本医科大学アレルギー-膠原病内科
ランチョンセミナー 3		無	LS3	NMOSD診療の理論と実践	中原 仁	慶應義塾大学医学部神経内科
ランチョンセミナー 4		○	LS4	多発性硬化症とB細胞療法	野原 千洋子	東京都保健医療公社荏原病院 神経内科
ランチョンセミナー 5		無	LS5	新たなエビデンス～ソリリス®PREVENT継続投与試験から考察する補体をターゲットにしたNMOSD治療最前線～	中島 一郎	東北医科薬科大学医学部 老年神経内科学教室
イブニングセミナー 1		無	ES1-1	MS患者の就労問題	野原 千洋子	東京都保健医療公社荏原病院 神経内科
		無	ES1-2	MS患者の妊娠・出産—プレコンセプションケアの重要性—	清水 優子	東京女子医科大学 脳神経内科
イブニングセミナー 2		○	ES2-1	抗MOG抗体関連疾患の特徴	三須 建郎	東北大学病院 脳神経内科
		○	ES2-2	抗MOG抗体測定におけるLive CBA	高橋 利幸	国立病院機構 米沢病院 神経内科
モーニングセミナー 1		無	MS1	多発性硬化症の多様性と疾患修飾薬の選択	松下 拓也	九州大学病院脳神経内科
モーニングセミナー 2	MG治療 新時代の入り口 ～抗補体薬ソリリス®の使用経験～	○	MS2-1	MGにおける補体の関与	鵜沢 顕之	千葉大学医学部附属病院 脳神経内科
		○	MS2-2	抗補体薬ソリリス®の位置づけ	村井 弘之	国際医療福祉大学 医学部 脳神経内科学
ランチョンセミナー 6		無	LS6	自己抗体関連視神経炎の診断と治療戦略	三須 建郎	東北大学病院 脳神経内科
ランチョンセミナー 7		無	LS7	重症筋無力症の治療 update	鵜沢 顕之	千葉大学医学部附属病院 脳神経内科
ランチョンセミナー 8		無	LS8	多発性硬化症：病初期から進行期まで途切れのない治療の必要性	磯部 紀子	九州大学大学院医学研究院 神経内科学
ランチョンセミナー 9		無	LS9	自己抗体陽性CIDPの病態に即した治療法選択 -EAN/PNS 2021新ガイドラインをふまえて-	山崎 亮	九州大学大学院医学研究院神経内科学
ランチョンセミナー10		無	LS10	多発性硬化症の病態と治療方略	中辻 裕司	富山大学 脳神経内科

第33回日本神経免疫学会学術集会 演題一覧

2021/10/22現在

※演者の許可が得られた演題のみオンデマンド配信いたします。

セッション名	セッションテーマ	オンデマンド配信の有無	演題番号	演題名	演者名 ※敬称略	所属
学会賞 受賞候補セッション		○	Y-1	視神経脊髄炎で「血液脳関門を治療する」というIL-6受容体阻害薬の新たな作用機序	竹下 幸男	山口大学大学院 医学系研究科 臨床神経学
		○	Y-2	レッドフラッグを有する多発性硬化症の判別における、髄液サイトカイン・ケモカイン解析の有用性の検討	芦田 真士	京都府立医科大学大学院 脳神経内科学
		○	Y-3	抗IgLON5抗体関連疾患の臨床像および治療効果に関する検討	木村 暁夫	岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野
		○	Y-4	免疫性細胞の遺伝子制御を可能にしたヘテロ核酸の開発	横田 隆徳	東京医科歯科大学 脳神経病態学分野
		○	Y-5	腸管におけるIL-17産生性γδT細胞の活性化と実験的自己免疫性脳脊髄炎への関与	込山 星河	慶應義塾大学大学院 薬学研究科 薬科学専攻
		○	Y-6	一細胞RNAseq解析による重症筋無力症特異的な神経関連分子発現を行う胸腺上皮細胞の同定	安水 良明	大阪大学大学院医学系研究科 免疫学フロンティア研究センター 実験免疫学
		○	Y-7	多発性硬化症でのCD20抗体による抗B細胞療法：血液脳関門を中心とした新しい病態機序	竹下 幸男	山口大学大学院 医学系研究科 臨床神経学
		○	Y-8	日本人多発性硬化症患者における血清ニューロフィラメントとMRIパラメータとの関連	福元 尚子	九州大学 大学院医学研究院 神経内科学
ワークショップ ¹	NMO ^①	無	WS-1	視神経脊髄炎関連疾患における脳幹・小脳病変の臨床的特徴	佐治 越爾	新潟大学 脳研究所 神経内科
		○	WS-2	視神経脊髄炎関連疾患の縦断的脳萎縮の検討	栢田 大生	千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学
		○	WS-3	視神経脊髄炎におけるCD25陽性naive B細胞の解析	能登 大介	順天堂大学医学部免疫学講座
		○	WS-4	NMOsd脳におけるアストロサイト代謝と高次脳機能、脳血流及びMRI画像の相関	奥野 龍禎	大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学
		○	WS-5	モノクローナル抗体製剤投与が視神経脊髄炎患者の生活の質に与える影響	植田 晃広	藤田医科大学 医学部 脳神経内科学
		○	WS-6	脳生検で活動性病変を捉えたと考えられた抗AQP4抗体陽性視神経脊髄炎関連疾患の63歳女性例	国分 則人	獨協医大 脳神経内科
		○	WS-7	卵巣奇形腫による傍腫瘍性視神経脊髄炎の病態について	池口 亮太郎	東京女子医科大学病院 脳神経内科
ワークショップ ²	末梢神経疾患	○	WS-8	ギラン・バレー症候群での血液神経関門破綻メカニズムの解析	清水 文崇	山口大学大学院 医学系研究科 臨床神経学
		○	WS-9	CIDP患者における髄液ATPの検討	林 智宏	富山大学 脳神経内科
		○	WS-10	CIDPに対する免疫グロブリン維持療法の減量時再発リスク因子の検討	青墳 佑弥	千葉大学医学部附属病院 脳神経内科
		○	WS-11	胸腺腫を合併した抗contactin-1抗体陽性ニューロパチー3例の臨床的特徴	緒方 英紀	九州大学病院 脳神経内科
		○	WS-12	合成糖鎖化合物を用いたMAG抗体のエピトープ解析	中島 昌典	杏林大学 医学部 脳神経内科
		○	WS-13	LGI4-IgG4はLGI4とADAM22の蛋白間相互作用を阻害して脱髄を起こすCIDPの新たなノド抗体である	張 旭	国際医療福祉大学大学院医学研究科トランスレーショナルニューロサイエンスセンター
		○	WS-14	EGPAの連続20症例の臨床・病理・電気生理学解析によるEGPA neuropathyの早期治療介入の重要性	竹下 幸男	山口大学大学院 医学系研究科 臨床神経学

第33回日本神経免疫学会学術集会 演題一覧

2021/10/22現在

※演者の許可が得られた演題のみオンデマンド配信いたします。

セッション名	セッションテーマ	オンデマンド配信の有無	演題番号	演題名	演者名 ※敬称略	所属
ワークショップ3	MS①	○	WS-15	多発性硬化症治療におけるDMD反応性と免疫セマホリン Sema4Aの関連の検討	甲田 亨	大阪大学 神経内科
		無	WS-16	多発性硬化症患者において抗CD20抗体治療が誘導するB細胞再構成とCD20陽性T細胞除去の意義	篠田 紘司	Department of Neurology, Perelman School of Medicine, University of Pennsylvania
		○	WS-17	多発性硬化症の疾患修飾薬使用下での再発に関連する遺伝因子	松下 拓也	九州大学 大学院 医学研究院 神経内科学
		無	WS-18	再発寛解型多発性硬化症におけるfingolimod内服下での喫煙と再発の検討	田中 栄蔵	九州大学 大学院 医学研究院 神経内科学
		○	WS-19	Fingolimod療法中6年後に胃原発性悪性リンパ腫を発症した1例	中西 恵美	金沢医科大学 脳神経内科
		○	WS-20	Iguratimod improves a secondary progressive multiple sclerosis model by therapeutic administration	Satoshi Nagata	Department of Neurology, Neurological Institute, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University
		○	WS-21	定期的血液浄化療法による神経免疫疾患の活動性制御	林 幼偉	国立精神・神経医療研究センター 病院 脳神経内科
ワークショップ4	NMO②	○	WS-22	サトラリズマブの視神経脊髄炎関連疾患（NMOSD）患者を対象とした拡大治験	岡本 智子	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経内科
		○	WS-23	視神経脊髄炎関連疾患におけるSatralizumabの治療経験と免疫動態の変動	王子 聡	埼玉医科大学 総合医療センター 神経内科
		無	WS-24	Satralizumab in neuromyelitis optica spectrum disorder (NMOSD) and concomitant autoimmune	A Traboulsee	UBC
		無	WS-25	Long-term safety of satralizumab in neuromyelitis optica spectrum disorder (NMOSD) patients.	Xiujing Kou	Hoffmann-La Roche
		無	WS-26	Satralizumab in adults with AQP4-IgG seropositive neuromyelitis optica spectrum disorder (NMOSD).	H.-Christian von Buedingen	Hoffmann-La Roche
		○	WS-27	サトラリズマブ投与後に急性骨髄性白血病を発症した視神経脊髄炎スペクトラム障害の1例	寺内 貴廣	岩手医科大学 医学部 内科学講座 脳神経内科・老年科分野
		○	WS-28	エクリズマブの視神経脊髄炎スペクトラム障害に関する特定使用成績調査	中島 一郎	東北医科薬科大学 医学部 老年神経内科学
ワークショップ5	MS②	○	WS-29	日本人多発性硬化症単一施設953例の病型と障害進行	齋田 孝彦	多発性硬化症治療研究所／入野医院 関西多発性硬化症センター
		○	WS-30	第5回全国調査からみる多発性硬化症の重症度に寄与する因子の検討	渡邊 充	九州大学大学院 医学研究院 神経内科学
		○	WS-31	多発性硬化症患者の自動車運転能力	前田 愛美	岩手医科大学 脳神経内科・老年科
		○	WS-32	Theory of mind and its neuroanatomical correlates in patients with multiple sclerosis	横手 裕明	新渡戸記念中野総合病院 脳神経内科
		○	WS-33	Elucidation of Gut Microbial Species Associated with Multiple Sclerosis Progression	竹脇 大貴	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 免疫研究部／京都府立医科大学 脳神経内科
		○	WS-34	多発性硬化症患者における<I>mycobacterium avium subsp. paratuberculosis</I>抗体の上昇	林 史恵	九州大学医学研究院神経内科学／亀田総合病院脳神経内科
		無	WS-35	間接蛍光抗体法による多発性硬化症患者血清中の抗オリゴデンドロサイト抗体の検討	藤井 敬之	九州大学大学院 医学研究院 神経内科学

第33回日本神経免疫学会学術集会 演題一覧

2021/10/22現在

※演者の許可が得られた演題のみオンデマンド配信いたします。

セッション名	セッションテーマ	オンデマンド配信の有無	演題番号	演題名	演者名 ※敬称略	所属
ワークショップ ⁶	臨床ケース	無	WS-36	認知機能障害と脊髄障害を呈したHIV合併多相性急性散在性脳脊髄炎の1例	黒田 理恵	東京女子医科大学 脳神経内科
		無	WS-37	COVID-19感染後にGFAPアストロサイトパチー様の造影効果を呈した急性散在性脳脊髄炎（ADEM）の一例	田中 遼	富山大学 脳神経内科
		○	WS-38	Preclinical lupusを疑う血清学的異常を背景にCOVID-19ワクチン接種後に視床病変を呈した一症例	中村 悠弥子	帝京大学 ちば総合医療センター 脳神経内科
		○	WS-39	血管炎による脳梗塞を呈し、免疫療法が奏功した中枢神経ループスの1例	小原 啓弥	南奈良総合医療センター
		○	WS-40	抗Myelin oligodendrocyte glycoprotein 抗体陽性を呈し、抗結核薬治療が奏功した無菌性髄膜炎の一例	景山 卓	東海記念病院 脳神経内科 名古屋大学 環境医学研究所
		○	WS-41	MOG抗体陽性で、眼窩先端症候群を呈し、免疫介在性肥厚性硬膜炎との鑑別を要した転移性乳癌の1例.	岡田 真里子	埼玉医科大学 脳神経内科
		○	WS-42	病理学的に壊死性変化と広範な脱髄をみとめた抗MOG抗体関連脳脊髄炎の1例	加藤 梨紗	関西医科大学附属病院 脳神経内科
		○	WS-43	Pembrolizumabによる自己免疫性脳炎に対して血漿交換療法が奏功した子宮体癌の1例	山元 正臣	埼玉医科大学総合医療センター 神経内科
		○	WS-44	多発中枢神経病変を呈したCTLA-4ハプロ不全症の一例	江里口 誠	佐賀大学医学部 脳神経内科
		○	WS-45	脊髄炎と鑑別を要した、腰椎レベルにシャントのある脊髄硬膜動静脈瘻(SDAVF)4例の臨床症状・画像所見の検討	林田 仁志	九州大学 大学院 医学研究院 神経内科学
ワークショップ ⁷	基礎研究①	○	WS-46	アデノシンはTh17細胞の分化を誘導しアデノシンA2a受容体拮抗薬はEAEを抑制する	戸叶 美枝子	埼玉医科大学 医学部 免疫学 埼玉医科大学病院脳神経内科
		無	WS-47	Intrinsic blood-brain barrier dysfunction contributes to multiple sclerosis pathogenesis	西原 秀昭	山口大学 医学部 脳神経内科 Theodor Kocher Institute, University of Bern, Switzerland
		○	WS-48	多発性硬化症治療薬siponimodのグリア細胞における作用機序	小笠原 陽大	横浜市立大学 医学部 神経内科・脳卒中医学
		○	WS-49	Astroglial connexin 43 is a novel therapeutic target for chronic multiple sclerosis model	Ezgi Ozdemir	九州大学 大学院医学研究院 脳神経病研究施設 神経内科学
		○	WS-50	ラット脳免疫組織化学上の特徴的染色パターンに基づいた神経表面抗原の予測：予備的研究	長田 奈緒美	北里大学 医学部 脳神経内科学
		無	WS-51	DNA/RNAヘテロ2本鎖核酸によるマイクログリア・マクロファージ制御を介した神経免疫疾患の治療	西 李依子	東京医科歯科大学大学院 脳神経病態学分野
		無	WS-52	抗自律神経節アセチルコリン受容体抗体におけるIgGサブクラスの検討	向野 晃弘	富山大学附属病院 和漢診療科
ワークショップ ⁸	自己免疫性脳炎・その他	○	WS-53	抗MOG抗体関連疾患における画像上のくすぶり病変の意義	刀坂 公崇	神戸大学大学院 医学研究科 脳神経内科学
		○	WS-54	抗MOG抗体関連疾患における髄液中の抗MOG抗体測定の意義	松本 勇貴	東北大学大学院医学系研究科 神経内科学分野
		○	WS-55	免疫介在性小脳性運動失調症における抗Sez6l2抗体の検討	阿部 恵	北海道大学 神経内科
		○	WS-56	本邦におけるスティッフパーソン症候群の実態調査	山本 遥平	徳島大学大学院 医薬学研究部 脳神経内科 高松赤十字病院 神経内科
		無	WS-57	自己免疫性脳炎の疾患活動期では末梢血でplasmablastsが増加する	原 敦	神戸大学大学院 医学研究科 脳神経内科学

第33回日本神経免疫学会学術集会 演題一覧

2021/10/22現在

※演者の許可が得られた演題のみオンデマンド配信いたします。

セッション名	セッションテーマ	オンデマンド配信の有無	演題番号	演題名	演者名 ※敬称略	所属
ワークショップ ⁹	MG	○	WS-58	重症筋無力症に対する長期単剤療法としてのタクロリムスの有効性と安全性	井谷 公美	関西医科大学 医学部 神経内科学講座
		無	WS-59	発症5年以上の全身型重症筋無力症患者の重症度に関連する因子の検討	杉本 太路	広島市立広島市民病院 脳神経内科 広島大学病院 脳神経内科
		○	WS-60	超高齢発症重症筋無力症(Ultra-late-onset MG)の臨床的特徴について	辻 麻人	神戸大学大学院医学研究科 脳神経内科学
		○	WS-61	乳癌を合併したLambert-Eaton筋無力症候群の1例	村手 健一郎	藤田医科大学 医学部 脳神経内科学
		○	WS-62	エクリズマブ投与時の全身型重症筋無力症患者の病態生理特性に関する多施設共同臨床研究(中間解析)	村井 弘之	国際医療福祉大学
ワークショップ ¹⁰	基礎研究②	○	WS-63	軸索蛋白であるカルレチニンはマイクログリアを刺激しALSの臨床的重症度と相関するケモカインを産生させる	林 信太郎	九州大学大学院 医学研究院 神経内科学 群馬リハビリテーション病院 脳神経内科
		○	WS-64	全身免疫-グリア連関に着目した筋萎縮性側索硬化症の病態解明	小峯 起	名古屋大学 環境医学研究所 病態神経科学分野
		○	WS-65	IL-19欠損はALSモデルマウスの運動機能改善をもたらす	古宮 裕泰	横浜市立大学大学院医学系研究科 神経内科学・脳卒中医学
		無	WS-66	多系統萎縮症の早期脱髄病巣における活性化マイクログリア・マクロファージとコネクシン蛋白群脱落	眞崎 勝久	九州大学大学院医学研究院神経内科学
		○	WS-67	炎症性筋疾患患者血清が筋微小血管構成細胞に与える影響	本田 真也	山口大学 大学院医学系研究科 臨床神経学
		○	WS-68	筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 (ME/CFS) におけるB細胞受容体レパトアの偏倚と抗自律神経受容体抗体の検討	佐藤 和貴郎	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部

第33回日本神経免疫学会学術集会 演題一覧

2021/10/22現在

※演者の許可が得られた演題のみオンデマンド配信いたします。

セッション名	セッションテーマ	オンデマンド 配信の有無	演題番号	演題名	演者名 ※敬称略	所属
ポスターグループ 1	MS	無	P-1	多発性硬化症における脳血流低下	中村雅一	北海道脳神経外科記念病院 脳神経内科
		○	P-2	Comparison of disease modifying therapies for relapsing multiple sclerosis in Japan	Nozomu Tanaka	Novartis Pharma K.K.
		○	P-3	再発型MS患者を対象とした、再発に依存しない障害進行に対するオファツムマブの有効性評価	大高広道	ノバルティスファーマ株式会社 メディカル本部
		○	P-4	Conversion to non-active secondary progressive multiple sclerosis: real-world results from TOP	Ludwig Kappos	University Hospital and University of Basel
		○	P-5	日本人多発性硬化症のナタリズマブ治療：単一施設85例での長期のMRI・有効性・安全性評価	齋田孝彦	入野医院・関西多発性硬化症センター
		○	P-6	多発性硬化症患者におけるナタリズマブ使用成績調査の6年次中間解析：安全性および患者背景別の有効性	横山和正	順天堂大学 医学部 神経学
		○	P-7	フマル酸ジメチルの多発性硬化症患者における安全性と有効性の検討－使用成績調査中間解析結果	中島一郎	東北医科薬科大学医学部 老年神経内科学
		○	P-8	フマル酸ジメチル投与患者におけるリンパ球数の変化の検討－使用成績調査中間解析結果	大橋高志	東京女子医科大学附属八千代医療センター 脳神経内科
		○	P-9	シボニモドのSPMSにおけるMRI結果に与える影響：EXPAND試験 5年データからの分析	上田兼吾	ノバルティスファーマ 株式会社
		○	P-10	フィンゴリド治療中の多発性硬化症患者におけるCOVID-19の経過	岸田日帯	横浜市立大学附属市民総合医療センター 脳神経内科
		○	P-11	オファツムマブを投与された多発性硬化症患者におけるCOVID-19の特徴と転帰	丸山サラディーニ恵子	ノバルティスファーマ株式会社 メディカル本部
		○	P-12	Pregnancy Outcomes After Dimethyl Fumarate Exposure: Interim Results from an International Registry	Kerstin Hellwig	University of Bochum, Neurological Clinic
		○	P-13	ヒトin vitro BBBモデルを用いたアストロサイトからのBDNF分泌を促進させる脂質化合物の同定	藤澤美和子	山口大学 臨床神経学講座
		○	P-14	タイラーマウス脳脊髄炎ウイルス受容体機能に関する糖脂質の解析	武田和也	東北医科薬科大学 医学部 免疫学教室
ポスターグループ 2	NMO	○	P-15	抗AQP4抗体陽性NMOSD患者におけるエクリズマブとサトラズマブの使用経験	尾上祐行	獨協医大 埼玉医療センター 脳神経内科
		○	P-16	当院でエクリズマブを使用した視神経脊髄炎スペクトラム障害の2症例における臨床的検討	田川朝子	平塚市民病院 神経内科
		○	P-17	成人の抗AQP4抗体陽性視神経脊髄炎スペクトラム障害に対して承認されている治療薬の間接比較	藤原一男	福島県立医科大学 脳神経疾患研究所多発性硬化症・視神経脊髄炎センター
		○	P-18	視神経脊髄炎急性期における抗補体療法の有用性	金子仁彦	東北大学 脳神経内科
		○	P-19	視神経脊髄炎の再発と同時に抗NMDAR受容体脳炎を発症した39歳女性	金子淳太郎	北里大学 医学部 脳神経内科学
		無	P-20	AQP4ペプチド免疫による新規NMOSDマウスモデルの作出と評価	三宅翔太	中外製薬株式会社 プロダクトリサーチ部

第33回日本神経免疫学会学術集会 演題一覧

2021/10/22現在

※演者の許可が得られた演題のみオンデマンド配信いたします。

セッション名	セッションテーマ	オンデマンド配信の有無	演題番号	演題名	演者名 ※敬称略	所属
ポスターグループ3	神経筋接合部-筋疾患	○	P-21	胸腺腫関連重症筋無力症における胸腺摘出術後の短中期的な予後に関する解析	安田真人	千葉大学 大学院医学研究院 脳神経内科学
		○	P-22	重症筋無力症の病勢評価におけるMG-QOL 15r-Jの有用性 ※旧演題名「当施設でのMG-QOL15rの検討」から上記に変更	大西庸介	千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学
		○	P-23	当科の重症筋無力症患者におけるcovid-19に対する不安とQOL調査	伊崎祥子	埼玉医科大学総合医療センター 神経内科
		無	P-24	ペムプロリズマブ投与中に抗アセチルコリン受容体抗体陽性が判明したが治療継続し肺癌の寛解を得た1例	古東秀介	北播磨総合医療センター 脳神経内科
		○	P-25	眼筋型重症筋無力症に対するステロイドパルス療法	萬翔子	和歌山県立医科大学 脳神経内科
		○	P-26	タクロリムス抵抗性重症筋無力症においてシクロスポリンAへの切り替えは有効である	小島雄太	千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学
		○	P-27	Real-world use of eculizumab in gMG in the US: Results from a pilot retrospective chart-review study	Srikanth Muppidi	Stanford Neuroscience Health Center, Palo Alto, CA, USA
		○	P-28	重症筋無力症発症におけるアンドロゲン遮断療法の影響の検討	富沢雄二	順天堂大学 脳神経内科
		○	P-29	免疫性神経疾患に対する生物学的製剤の当院使用経験から考える臨床的意義	櫻井謙三	聖マリアンナ医科大学 内科学脳神経内科
		○	P-30	当院過去10年間の抗ミトコンドリア抗体陽性筋炎症例における筋病理所見の特徴：臨床経過との対応について	前田明子	東京大学 医学部 附属病院 脳神経内科
ポスターグループ4	末梢神経-脊髄疾患	○	P-31	外眼筋麻痺を伴わず両側内眼筋麻痺を主徴とした不全型Fisher症候群の2例	寺山敦之	近畿大学 医学部 脳神経内科
		無	P-32	Fisher症候群関連病態におけるCa²⁺依存性GQ1b抗体陽性症例と^{Ca2+}非依存性GQ1b抗体陽性症例の差異の検討	内堀歩	杏林大学 医学部 脳神経内科
		○	P-33	当院における抗GalNAc-GD1a抗体陽性の神経疾患に関する検討	内藤裕之	広島市立広島市民病院 脳神経内科
		○	P-34	Burden and unmet need in GBS: functional, quality of life, and economic consequences	Helene Chevrou-Severac	Alexion Pharma GmbH, Zurich, Switzerland
		無	P-35	COVID-19の流行がギラン・バレー症候群発症数に及ぼす影響	吉川恵輔	近畿大学 医学部 脳神経内科
		○	P-36	ベーチェット病の経過中に脱髄性末梢神経障害を呈した一例	尾崎太郎	金沢大学附属病院 脳老化・神経病態学（脳神経内科） 国立病院機構医王病院 脳神経内科
		無	P-37	抗Glutamic Acid Decarboxylase抗体が陰性化した慢性炎症性脱髄性多発神経炎の一例	齋藤和幸	日産厚生会玉川病院 脳神経内科
		○	P-38	典型的CIDPで発症しIVIgでは効果不十分となり長期PE維持療法を要した治療難渋例4例の臨床的検討	藤野真樹	東京医科歯科大学附属病院 脳神経内科
		○	P-39	CIDP30例の臨床病型と長期経過	根本壤	山口大学 大学院医学系研究科 臨床神経学
		○	P-40	神経サルコイドーシスの脳神経障害	武久康	岡山赤十字病院 脳神経内科
		○	P-41	HTLV-1感染細胞を標的としたTCRレパトア解析によるHAMの診断および病勢指標となるバイオマーカーの探索	野妻智嗣	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経内科・老年病学

第33回日本神経免疫学会学術集会 演題一覧

2021/10/22現在

※演者の許可が得られた演題のみオンデマンド配信いたします。

セッション名	セッションテーマ	オンデマンド配信の有無	演題番号	演題名	演者名 ※敬称略	所属
ポスターグループ5	脳炎・脳症・髄膜炎・その他	○	P-42	特発性小脳失調症に対する免疫療法の有効性と安全性を検証する多施設医師主導治験	吉倉延亮	岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野
		○	P-43	卵巣癌を背景として発症したN型VGCC抗体を伴う急性精神・高次機能障害に関する臨床的検討	北川賢	慶應義塾大学 医学部 神経内科
		無	P-44	神経症状から診断に至る悪性リンパ腫の臨床的特徴と髄液IL-10の有用性に関する検討	川崎怜子	東京大学大学院 医学研究科 脳神経内科学
		無	P-45	亜急性に認知機能低下で発症し、ステロイドパルスが奏功した抗LGI-1抗体陽性脳炎の2例	山本真守	富山大学附属病院 脳神経内科
		○	P-46	免疫チェックポイント阻害薬投与下に中枢神経系の免疫関連有害事象が生じた3例の検討	菊辻直弥	奈良県立医科大学 脳神経内科
		○	P-47	当科で経験したNMDA受容体脳炎16例の臨床的特徴	横田優樹	日本大学 医学部 内科学系 神経内科学分野
		○	P-48	抗MOG抗体関連皮質性脳炎で発症した抗NMDA受容体脳炎・脱髄重複症候群の一例	二宮智子	日本大学 医学部 内科学系神経内科学分野
		○	P-49	脊髄MRIで異常所見を認めない脊髄炎と視神経乳頭浮腫を呈した抗MOG抗体関連疾患の1例	後藤公文	伊万里有田共立病院 脳神経内科
		無	P-50	Tumefactive demyelinating lesionの臨床免疫病理学的検討	中島章博	新潟大学脳研究所 脳神経内科学分野
		○	P-51	神経症候出現時に関節症状を認めなかったトシリズマブ使用中のリウマチ性髄膜炎の一例	大塚健司	岡崎市民病院 脳神経内科
		○	P-52	COVID-19罹患後に発症し、MRI所見で異常を認めなかった脳脊髄炎の一例	島崎壘	東京都立神経病院 脳神経内科